

浜名湖で遊ぶ! 食べる!

この夏の旬なレジャー体験



浜名湖でしか体験できない夏のレジャーを紹介するのじゃ。船に乗ったり、海の幸を堪能したり…。思い出に残る時間を過ごせるはずじゃ。

かつて渡船で行き来していた浜名湖の今切口(いまぎれぐち)を船で巡る、浜名湖湖上遊覧船。「東海道五十三次 今切の渡し」を再現したコースとなっており、幕府要人の船着き場だった北雁木(きたがんげ)から新居閑所付近までの、約5kmを往復する。使用するのは定員10名の小さな漁船。水面まで手が届き、浜名湖の魅力をダイレクトに体感できる。30~40分の遊覧を体験した後は、潮の引いている時間を狙って「干潟遊び」。水遊びをしていると、野鳥や魚、やどかりなど生き物との出会いもあり、心の底からリフレッシュできる。基本のコースは決まっているが、要望に応じて変更できるため、船頭さんに相談してみよう。

期 間 / 10月下旬まで運行予定
 ※雨天・強風の場合は運休
 料 金 / 1回乗船料 お一人様1,000円
 申 込 / 電話にて事前申込 ※予約制
 ※4名様~ 船は7~10名定員
 問合せ / 弁天島遊船組合
 TEL.053-592-0933
<http://www.bentenjima.jp/>

今切の渡し 浜名湖 湖上遊覧船

江戸時代の旅人気分を巡る船の旅 & 干潟遊び
 浜名湖の風と水、香りを感じる非日常体験

- 1 たくさんのやどかりが生息し、子どもも大喜び。
- 2 弁天島の赤鳥居の間近で干潟遊び。浜名湖の名所であり絶好の撮影スポット。
- 3 橋の下をくぐる貴重な体験。小さな船だからこそ実現できる。



100年余りの伝統と独特の漁法で知られる「たきや漁」は浜名湖ならではの当地レジャー。夕方の陽が落ちるころから出発し、暗くなったら漁のはじまり。ゆっくりと進む船に立ち、湖面から見える獲物をモリや網で捕らえていく。獲れる魚は、カニ、エビ、サヨリをはじめ、タコやクロダイなどの大物も。漁が終わると湖面に浮かぶイカダへ移動し、獲物をそのまま料理して宴会を楽しめる。服装はズボンとスニーカーなど寒くない格好であればOKで道具も不要。手軽に体験できるのもうれしい。

期 間 / 5月15日~9月末日
 時 間 / 5~9月 17:30~
 6~8月 19:00~
 ※天候不良の場合、休業もあり
 料 金 / 一隻(4名まで)30,000円
 ※イカダでの調理料込
 申 込 / 電話にて事前申込み ※要予約
 問合せ / たきや組合遊船部
 浜松市西区雄踏町9985-3
 TEL.053-592-2260
<http://takiyaryou.jp/>



獲った魚を、漁師さんたちが天ぷらや味噌汁にして振舞ってくれる。獲物が少なくても、漁師さんが獲ったのも料理してくれるので安心。飲み物やおつまみなどの持ち込みもできる。残った魚は持ち帰り可能。

たきや漁

浜名湖で気軽に漁師体験
 獲れたてをその場で
 食す楽しみも



日 時 / 8月24日(土)
 7:30~10:00頃
 ※商品がなくなり次第終了
 会 場 / 舞阪漁港(浜松市西区舞阪町)
 問合せ / 舞阪漁港えんばい朝市実行委員会
 (浜名商工会舞阪支所内)
 TEL.053-592-3811
<http://www5.ocn.ne.jp/~maisaka/>

夏だけ開催される「えんばい朝市」
 その日漁獲された生しらすは絶品!

毎年5~8月に、漁業の盛んな舞阪で開催される「えんばい朝市」とは漁獲物の自家消費分を乗組員で分け合い、家庭で食べたり、隣近所に振る舞ったりすること。目玉商品は獲れたてのしらすで、1パック約1kg入りで500円。その他、鮮魚や釜揚げしらす、生海苔、あさり、うなぎの白焼きなど、遠州灘と浜名湖の幸が購入できる。
 ※天候により、生しらすの販売がない場合があります。

